



場所接尾辞

ハンガリー語には、「どこから」「どこで」「どこへ」という方向関係と、「中」「表面」「あたり」という場所関係に応じて、9つの接尾辞、および、「～まで」の意味を表わす接尾辞があります。これらの接尾辞は具体的な場所関係だけではなく、日本語の「てにをは」のように、さまざまな抽象的な関係も表わします。

	どこから	どこで	どこへ	どこで
疑問詞	honnan?	hol?	hova?	meddig?
中	-ból, -ből	-ban, -ben	-ba, -be	-ig
表面	-ról, -ről	-n, -on, -en, -ön	-ra, -re	
あたり	-tól, -től	-nál, -nél	-hoz, -hez, -höz	

場所(「～で」の意味)を表わす接尾辞

「～で～する」や「～に～がある」というときには、「どこで」の意味を表わす場所接尾辞を名詞のあとにつけます。この場所接尾辞には、ものと場所の位置関係によって、次の3種類があります。

「～の中に」: -ban, -ben

後舌母音語	-ban
前舌母音語	-ben

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska かばん → táskában カバンの中に
szekrény タンス → szekrényben タンスの中に

「～の上(表面)に」: -n, -on, -en, -ön

母音でおわる語		-n
子音でおわる語	後舌母音語	-on
	前舌母音語	-en
	円唇前舌母音語	-ön

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska かばん → táskán カバンの上に
asztal 机 → asztalon 机の上に
szekrény タンス → szekrényen タンスの上に
könyv 本 → könyvön 本の上に

最後の母音が脱落した語幹に、この場所接尾辞がつく語があります。

tükör, tükr- 鏡 → tükrön 鏡の上に

「～のところ(あたり)に」: -nál, -nél

後舌母音語	-nál
前舌母音語	-nél

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

fa 木 → fánál 木のところに
szekrény タンス → szekrélynél タンスのあたりに

場所接尾辞の用法

これらの場所接尾辞は、「中」や「表面」といった具体的な場所関係を表わす以外に、地名や建物について、単に「～に」「～で」という意味を表わします。このとき、どの接尾辞を使うかは、単語によって決まっています。

-ban, -ben がつくもの

外国の国名や都市名, iskola 「学校」や mozi「映画館」などの建物全般

Ószakában lakom. 大阪に住んでいます。
Iskolában tanulok. 学校で勉強しています。

-n, -on, -en, -ön がつくもの

ハンガリーの国名とハンガリー国内の都市名*, posta「郵便局」, egyetem「大学」, 平面的な場所(tér「広場」, pályaudvar「駅」, repülőtér「空港」など)

Budapesten lakom. ブダペストに住んでいます。
Egyetemen tanulok. 大学で勉強しています。

-nál, -nél がつくもの

vállalat「会社」, 人など

Péter Évánál lakik. ペーテルはエーヴァのところに住んでいます。
Egy japán vállalatnál dolgozom. 日本の会社で働いています。

*ハンガリー国内の地名のなかに、例外的に -ban, -ben がつくものがあります。
Badacsony, Debrecen, Eger, Esztergom, Győr, Komárom, Sopron, Tihany, Tokaj, Veszprém など。

場所(「～へ」の意味)を表わす接尾辞

「～へ行く」というときには、「どこへ」の意味を表わす場所接尾辞を名詞のあとにつけます。この場所接尾辞には、ものと場所の位置関係によって、次の3種類があります。

「～の中へ」

後舌母音語	-ba
前舌母音語	-be

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska カバン → táskába カバンの中へ
szekrény タンス → szekrénybe タンスの中へ

「～の上(表面)へ」

後舌母音語	-ra
前舌母音語	-re

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska かばん → táskára カバンの上へ
szekrény タンス → szekrényre タンスの上へ

「～のところへ」

後舌母音語	-hoz
非円唇前舌母音語	-hez
円唇前舌母音語 (最後の母音が ö, ő, ü, ú)	-höz

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

fa 木 → fához 木の方へ
 szekrény タンス → szekrényhez タンスの方へ
 rendőr 警官 → rendőrhöz 警官の方へ

-ban, -ben がつく場合は -ba, -be が,
 -n, -on, -en, -ön がつく場合は -ra, -re が,
 -nál, -nél がつく場合は -hoz, -hez, -höz がそれぞれつきます

場所(「～から」の意味)を表わす接尾辞

「～から来る」というときには、「～から」の意味を表わす場所接尾辞を名詞のあとにつけます。この場所接尾辞には、ものと場所の位置関係によって、次の3種類があります。

「～の中から」

後舌母音語	-ból
前舌母音語	-ből

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska カバン → táskából カバンの中から
 szekrény タンス → szekrényből タンスの中から

「～の上(表面)から」

後舌母音語	-ról
前舌母音語	-ről

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

táska かばん → táskáról カバンの上から
 szekrény タンス → szekrényről タンスの上から

「～の方から」

後舌母音語	-tól
前舌母音語	-től

このとき、語末の -a, -e は長くなります。

fa 木 → fától 木の方から
 rendőr 警官 → rendőrtől 警官の方から

地名や建物にこの接尾辞がついて、単に「～から」という意味を表わす場合、

-ban, -ben がつく単語には -ból, -ből が,
 -n, -on, -en, -ön がつく単語には -ról, -ről が,
 -nál, -nél がつく単語には -tól, től がつきます。

これらの接尾辞の長母音はみな、会話では -ból[bol] のように、短く発音されます。

「～まで」の意味を表わす接尾辞:-ig

接尾辞 -ig は、「どこまで(場所)」あるいは「いつまで(時間)」の意味を表わします。語末の -a, -e は長くなります。

az Operáig オペラ座まで
 holnapig 明日まで

「AからBまで」というときには、-tól, -től とともに使います。

Budapesttől Debrecenig ブダペストからデブレツェンまで
 reggeltől estig 朝から晩まで